

2026年5月15日

各位

会社名 株式会社ホクリヨウ
代表者名 代表取締役社長 米山大介
(コード番号: 1384 東証スタンダード)
問合せ先 専務取締役 松岡昌哉
(TEL: 011-812-1131)

「株主提案」とこれに対する「当社取締役会の意見」に関するお知らせ

当社は4月15日付にて「定款一部変更の件」に関する株主提案を祝前伸光氏（保有株式数30,000株）、黒岩三由里氏（保有株式数100株）、吉田千尋氏（保有株式数100株）より受取り、これに反対する取締役会の意見を本日開催の取締役会で決議いたしました。

つきましては上記「株主提案」及び当社取締役会意見を下記の通り開示いたします。

記

1. 株主提案

定款第4条として次の条文を新設する。

(持続可能性に配慮した経営)

第4条

当社は、アニマルウェルフェアを重視する立場から、採卵鶏の飼養においてケージフリーを含む持続可能な畜産方法への移行に努める。

2. 当社は、前項の取組に関する情報を開示する。

提案理由

近年、採卵鶏の飼養方法に関してアニマルウェルフェアへの関心が国際的に高まり、多くの食品企業や小売企業がケージフリー卵の調達方針を公表している。国内においても同様の方針を表明する企業が増加しており、この流れが後戻りする可能性は低いと考えられる。こうした市場環境の変化を踏まえ、ケージフリー飼養への移行に早期に取り組むことは、将来の市場競争力の確保や経営の安定にもつながると考えられる。当社は財務基盤が強固であり、中長期的な視点でアニマルウェルフェアへの対応を進めることは企業価値の向上および持続的成長に資する可能性がある。これらの観点から、当社がケージフリー飼養を含むアニマルウェルフェアに配慮した飼養方法への移行を推進し、その取組状況を開示することを定款に明記することが望ましいと考え、本議案を提案する。

2. 会社の意見

当社は、畜産事業に携わる企業として、世界的な潮流となりつつあるアニマルウェルフェアへの取組を進めており、農林水産省畜産局によるアニマルウェルフェアを踏まえた「採卵鶏の飼養管理に関する技術的な指針」（令和5年7月26日付け5畜産第1066号）を踏まえ、これを遵守した経営を行っております。株主提案に関しましてはアニマルウェルフェアの基本理念である「5つの自由」のうち、「通常の行動様式を発現する自由」の観点から、ケージフリー飼育について主に宮城県内の農場で生産し、首都圏を中心に北海道から関西に至る地域で販売しており、2026年度には平飼い鶏舎の増設が決定しています。

当社は、これらの取組を通じて、業界内における先進的な対応を進めるとともに、事業環境や社会的要請の変化を踏まえつつ、持続的な成長と競争力の強化を図ってまいります。

他方で、当社は上場会社として各種の取組を進めるにあたっては、コストや収益性への影響等も総合的に勘案しな

がら、経営資源の最適な配分を行っていく必要があると考えております。

取締役会は、アニマルウェルフェアを含む個別の経営課題への対応は、外部環境や事業状況等を総合的に勘案しつつ、柔軟かつ機動的に方針を決定・実行し、必要に応じて見直しを行うべき事項であると考えております。このような観点から、会社の基本的事項を定める定款において、特定の経営課題に関する個別具体的な方針を定めることは必ずしも適切ではなく、かえって取締役会による柔軟かつ機動的な経営判断を制約するおそれがあると考えております。

以上の理由により、取締役会は、本提案に反対いたします。

以上